

地方創生で活気のある町に 議会だより

# かつら

No. 101

2025.04.29

02. 令和7年度 一般会計予算総額 41 億円

04. 《特集!》はばたけ! 高校生議会  
「勝浦ミライ会議」

07. 人事人選 / 星谷橋掛け替え特別委員会

08. 《議案審議》当初予算 / 補正予算

11. 追跡討論! 「どうなっとんで?」  
アレコレ決めたその後のハナシ

12. 一般質問

18. 町民の声

19. 《議員の目》視察報告

「3つの町村が描く地方の未来三者三様  
それぞれのまちづくり」

20. ぶっちゃけどうなの? 広報モニター会議

/ 令和7年度モニター

21. 《議長コラム》共勝創躍 (きょうしょうそうやく) / 編集後記

22. 《巻末特集》遠くで聞いた Good くる話 / 表紙探訪

## 地域防災緊急整備型事業

6506万円  
(令和6年度より繰り越し)

今岡 利二 (棚野)

災害は来てほしくはないが、発災時にはトイレカー、給水車、災害支援車どれも必要だと思う。災害時だけでなく、使い方に慣れるためにも普段からどんどん活用してほしい。



## スマート農業実証事業 (温州みかんドローン防除)

1000万円

押栗 友輝 (与川内)

ドローン防除は、熱中症リスクを下げ作業時間も短縮することができる。また、みかん農業従事者の高齢化に伴い、防除作業が難しい圃地も委託によって耕作放棄地の減少につながる。どの程度薬剤散布が葉裏にきれいにかかるか、雑木がある山際は散布がきれいにかからない等課題はある。



## 整形外科専門医が勝浦病院に！

只平 裕 (星谷)

町内にスポーツ医療の環境が整えられることは、大変有難いことだと思います。子供も肘の故障に悩み、町外医療機関で診察を受けていましたが、町内で診察が可能になると負担が軽減され大変助かります。また、未来の町内出身のアスリート登場への一助になるのではと大いに期待しています。



## 学習者・指導者用 タブレット更新 (GIGAスクール構想)

1689万円

尾山 洸誠 (生名)

タブレットを活用した授業では、ICT支援員の方が指導ツールの「カフト」などを使って丁寧に教えてくれて、楽しく学ぶことができています。新しいタブレットを活用して成績を伸ばしたいです。



## 運動公園・公衆トイレ 周辺整備事業

66万円

安藤 健一 (大阪市)

妻の実家(今山)があるこの運動公園には、月1回くらい子供たちと訪れています。とても広く、サッカーやボード遊びに夢中になり思いっきり楽しんでいます。四季を通じて見渡せる景色も変化し、自然の恵みを体いっぱい感じています。特に好きなのはここから見る夕日が最高です。



## 観光施設看板及び フォトスポット設置事業

石川 綾子 (小松島市)

810万円

観光客にはスマホが苦手な人が多いので、アナログ世代にもわかりやすい案内板に。フォトスポットは撮った写真を見るたびに、勝浦町を思い出してもらえるように工夫してほしい。



## 勝浦町制施行70周年記念事業

253万円

横井 幸子 (久国)

今年は、町政70周年を迎えた大きな節目ですね。おめでとうございます。私も誕生日が来れば古希、70歳となります。偶然にもこの年、この町で生まれこの町で青春時代を過ごし、人生を駆け抜けてきました。今も私のふるさと、元気な勝浦町が大好きです。



## 広域ごみ処理負担金

1031万円

植野 和博 (今山)

町内の人口が減り続けている中、公共のサービスを自前で行うことが困難になって来る。周辺市町村と協力し、できる限り最良の方法を選択してもらいたい。私達も行政への負担を少しでも減らす努力をしなければならないと思う。最終的には自分たちの利益にもなるのではないかな。



## 小規模事業者支援 (商工会連携)

石本 都子 (生名)

100万円

物価上昇の影響を受けてどの家庭も家計が厳しいのは同じなので、この支援事業を使ってお客様に還元できる使い方ができればいいと思います。もっと町には小規模事業者への支援を続けてほしい。



## 専門学校生議会の開催

6万円

坂田 一馬 (星谷)

徳島医療福祉専門学校OBです。若者が少なくなった勝浦町で貴重な意見が聞けるいい機会になればと思います。いろいろな意見があると思いますが、学生だけでなく町民にも利益の出るような意見を吸い上げて欲しいです。



## 小松島西高等学校勝浦校 通学支援事業補助金

120万円

鳴滝 煌雅 (小松島市)

バスの定期券代が月に数万もかかるので大変です。支援金があれば、親も生活費にお金がかかりやすくなるので、とても助かると思います。これで入学希望者が増えてくれたら嬉しいです。



## 横瀬上川原団地紹介者謝礼事業

20万円

10万円/区画×2

野崎 ふみ (生名)

保育所、学童クラブ、小学校に隣接しており、子育て世代の共働き夫婦にとっては、送迎の必要がなく通学時の交通事故の心配もないので便利で安心な立地だと思います。しかも、紹介料をいただけるとは！即完売するのは！



### 令和7年度特別会計予算

|         |           |
|---------|-----------|
| 国民健康保険  | 6億5,170万円 |
| 介護保険    | 9億7,795万円 |
| 後期高齢者医療 | 1億3,358万円 |
| 物産販売    | 154万円     |
| 住宅資金等貸付 | 63万円      |

### 令和7年度企業会計予算 (収益的収入)

|        |           |
|--------|-----------|
| 勝浦病院事業 | 8億6,912万円 |
| 簡易水道事業 | 1億6,989万円 |
| 集落排水事業 | 5,939万円   |

# はばたけ！ 高校生 コウコウセイギカイ 議会

## 勝浦三ライ会議



小松島西勝浦校は今、生徒の減少で存続が危ぶまれています。

少子化や通学費の高騰などさまざまな要因がありますが、勝浦町にとって大切な高校です。生徒たちから切実な声を直接聞いて、議会としてもなにか協力できることはないかと取り組みました。ビームライフルや人形浄瑠璃など勝浦校の特色を生かすなど、快適な高校生活を送るための提案をしてもらい、議員と協力して質問を練り上げました。

生徒5名が登壇し、「給食の実施」「バス停に明かりを」「ライフルによる勝浦町の活性化を」「バスの増便を」「バス通学への支援を」等、リアルな声が町へ届けられました。生徒たちが快適な学生生活を送れることが、学校の存続につながると期待しています。

## 放課後に安心して過ごせる施設を

戸村議員

冬のバス停は明かりが少なく危険です。生徒はバスの待ち時間に室内で過ごせて自主勉強ができる場所を強く望んでいます。どこかいい場所はありませんか。

教委局長 町立図書館をご利用いただければと思います。勝浦町に通学されてる方は貸し出しも受けられます。

生徒も保護者も近くにスパーが欲しい。保護者が迎えに来てくれた時に、生徒に急な予定などが入ってしまうと、どうしても待つ時間が増えてしまいます。家事などが忙しい保護者にとっては、途中に買い物ができることは大変ありがたい、近くにスパーがで



きたらいいなと思います。

企交課長 大型の店舗の誘致などはすぐに実現は困難。道の駅周辺にはコンビニがあり、よってね市では午後5時まで買い物が可能。レヴィタでは、不定期にカフェが出店。また、役場から奥には小規模のスパーもある。町内の店舗マップを後日共有しますので、ぜひ活用いただきたい。今後、新しい店舗の開店情報や、イベント情報など積極的に発信します。

最後に、町長、私たちの困りごとは理解していただけたと思いますが、どう思われましたか。

町長 よりよい学生生活を送るために、解決策を提案させていただきました。なるべく議員がおっしゃるようなことに応えていきたい。

普段、議会のみなさんと町長さんと話す機会がないので、すごくいい経験をさせてもらいました。

## 勝校にも是非給食を取り入れてほしい

戸田議員

勝校では、8割の学生がお弁当を持参しています。作れない場合は、登校前に買わなければなりません。購入できなければ、お腹



## ライフルによる勝浦町活性化

森本議員

勝校には全国レベルのライフル部があり、トップレベルの指導者も在籍しています。この強みを生かし、ライフル競技の合宿誘致や大会を開催すれば、全国各地から多くの競技関係者が来町、宿泊施設の活用、大会開催により町内商店での消費活動や、大会名に勝浦を使うことによる全国に向けての宣伝効果が見込まれます。

宿泊や大会参加人数に応じた町内産業の活性化のための助成制度を作ってもらえませんか。

教委局長 全国大会などで多数の方が優秀な成績を収められており、関係者とも協議をしながら、PR方法を含めてどんな取り組みができるか考えていきたい。また、東四国国体では勝浦町はビームライフルの会場として、町を挙げて取り組んだ。全国大会規模の開催となると、受け入れ体制や予算面に課題がある。

が満たされないまま午後も過ごすとなると、学生の本来の目的である学業や部活動に専念することは非常に困難です。勝校にも給食を提供していただけませんか。

給食所長 小中学校に日々315食の給食をお届けしています。年々、給食に関しての衛生基準が厳しくなっており、仮に勝校への給食提供となると、食器や台車等の追加備品が必要であり、多額の費用がかかり実現に向けては課題が多いです。

給食提供によってお金や時間を学業や部活動に還元していけば、勝校から勝浦町に貢献できる人材を輩出していく一助になるはずです。勝校にもぜひ給食を取り入れてください。

町長 勝校での学生生活を満足いくものにしていただきたいという思いは強くあります。調理量の増加で調理員への負担が増えるが、勝浦町の児童生徒もだんだんと減ってきており余力はあるんじゃないかと思えます。次に、設備、集金、食数の確定など提供しづらいところがあります。現段階では、給食に変わるような対策を学校とも協議していきたい。

給食の提供は現段階では難しいとの答弁がありました。私の母校で育てた野菜や果実が勝浦町の給食の食材に使われることは、SDGsや食育、ふるさと愛の育みにつながると思っています。



とむら あゆみ  
戸村 歩美さん（生名）



とだ ともき  
戸田 智希さん（坂本）



もりもと かずき  
森本 和希さん（小松島市）



なるたき こうが  
鳴滝 煌雅さん（小松島市）



すずき みはる  
鈴木 美遥さん（阿南市）

若い世代が学校の課題に真剣に向き合い、自らの言葉で学校や町の未来を語る姿に、私たち議員も大きな刺激と学びを得ました。

今回、通学に関する提案で高校生たちの声を受け、町として通学バス支援を実現できたことは、小松島西勝浦校を進学先に選んでもらえるための大きな一歩だったと感じています。このように、若者の声が実際の政策に反映される経験は、生徒たちにとっても「自分の意見で地域を動かすことができる」という実感につながる。

#### 議員考察

## 今後も若者参加の場を作りたい

がったのではないでしょう。また、私たちも「どのように分かりやすく伝えるか」「どのように若い世代と対話するか」ということを改めて考えるきっかけになりました。

今後も、高校生議会をはじめとした若者参加の場を継続・発展させながら、町民一人ひとりの声がまちづくりに反映される仕組みづくりに取り組んでまいります。未来の勝浦町を担う若者の声に、これからも真摯に向き合っていきたいです。



鳴滝議員

となるように期待しています。

### バスの増便を

朝2便を乗り過ごす次のバスは11時。下校時は通常3時6分と3時56分。当番実習時は、6時台のバスしか利用できません。朝は1便、夕方は5時台のバスを増便していただきたい。

**総務課長** 法律改正に伴い、バス運転手の労働時間が増え、減便となった。単純な増便は難しい。

**町長** ダイヤ改正は通学にも最も影響があるため、高校にも事前に連絡及び意見を伺い、可能な範囲で反映している。通学に利用しているみなさまの貴重なご意見として、利便性向上のために、勝浦町とし



応援をお願いしたい。

**町長** 県の担当部局にも相談し、県が実施するなら喜んで一緒にやりたい。バス路線の維持存続は町としても極めて重要なものであり、なんらかの定期券購入の支援は検討したい。

でも徳島バスに発着時刻の変更等について強く要望してまいりたい。

### 徳島行きのバス停に屋根と照明の設置を

悪天候や日差しが強い日には屋根のないバス停ではなく、学校敷地内の駐輪場を利用しています。しかし、自転車登校の生徒からは、前に立たれては自転車を出せないといった苦情が多数寄せられています。また、暗いバス停のままでは事故が起きる可能性があり、バス停に照明設置をお願いしたい。

**総務課長** 屋根と照明の設置は幅員確保の点から県道歩道への設置は難しいのではないかと。まずは、学校敷地内に施設設置の検討を生徒会等を通じて要望されてみてはどうか。

**町長** 東部県土整備局に要望をあげさせていただく。もし支援ができるものがあれば勝浦町としてもいたしたい。

### バス通学の定期代助成を

鈴木議員

生徒の過半数の通学費は月1万円以上かかっている。全国平均7597円と比べ、2400円ほど高い。他県では、通学補助が



ある学校もあり、那賀町では4分の1補助がある。勝浦町でも助成をしてほしい。

**教委員長** 令和4年度、阿南方面通学支援バスの支援を廃止し、新たに高校生1人当たり年10万円の支援をしている。

通学費の高騰により、バス通学を選択する生徒が今後減っていくことで、路線が存続の危機に瀕するのではないかと。

**総務課長** 人口減少や高齢化等により運転困難者が増加する。徳島バスに路線確保のために毎年240万程度を助成している。

路線維持のために生徒が少なからず貢献しているのではないのでしょうか。物価や燃料費の高騰の波に押されて、この学校に通う機会を失ってしまい、勝浦校に進学

### 星谷橋架け替え特別委員会

令和7年2月18日に開催された会議では、前回からの経緯と今後の進め方について協議をしました。

建設課の説明では、7年1月からは、用地取得と先行工事の着手として右岸側（生名）の堤脚水路（⑥）の施工を実施しています。また、次年度からの予算の上程（事業認定、用地・補償費）を行いスムーズな事業実施が行えるよう取り組んでいます。年次計画の工程も示されました。令和12年度の完成に向けて地権者、関係団体、工事中影響の出る関係者に対しての丁寧な説明とご協力をお願いがありました。

委員会では、完成イメージ図を見ながら詳細説明を求める等、工事中の通学や通行の安全性についての協議をおこないました。



副町長の任命に同意。政策監が新たに県より派遣され、それぞれ4月1日から着任されました。



副町長 海川氏



政策監 野上氏

副町長

海川好史氏（掛谷）

政策監

野上佳孝氏（松茂町）

#### ⑥①堤脚水路（ていきやくすいろ）

土手のふもとに沿って設けられる排水路で、土手の内部に水がたまるのを防ぎ、崩れを防止する役割を持ちます。

# 当初予算

議案審議

## 防災・まちづくり

### 地域公共交通体制整備事業

224万円

路線バスの空白地区におけるタクシー助成事業について、なぜ対象者でなく、申請のあった24名でアンケートを行ったのか。

### 総務課長

本格実施への移行か廃止を検討するため、制度設計の確認や利用者のニーズ調査が目的。満足、やや満足が18名だった。

### 老朽危険空き家除去支援事業

800万円

倒壊時に道路閉塞しない空き家への補助対象について説明を。以前に道路閉塞しないために断念している人への周知は。

### 建設課長

補助率5分の4以内で80万円を限度として支援してきた。

老朽空き家等除去補助金

| 道路閉塞 | 補助金額   | 補助率 |
|------|--------|-----|
| なし   | 上限40万円 | 2/5 |
| あり   | 上限80万円 | 4/5 |

現在ごみの収集は直営で行っているが、7月ごろより入札を行っている業者委託の予算が計上されている。直営での運営は検討したのか。

### 住民課長

現在は、継続雇用で業務を行っているが、募集してもなかなか応募がなかった。雇用が確保できるのかという点からも、直営を続けていくことは困難だと感じて

### ごみ収集委託料

962万円

### 町スポーツ協会活動補助金

60万円

スポーツ協会への補助金60万円。具体的な使用目的は。

### 教委局長

スポーツ協会の立ち上げ後、県のスポーツ協会への登録料が2万円必要。設立業務の件費、社会保険料などに58万円を見込んでいる。

## 医療・福祉

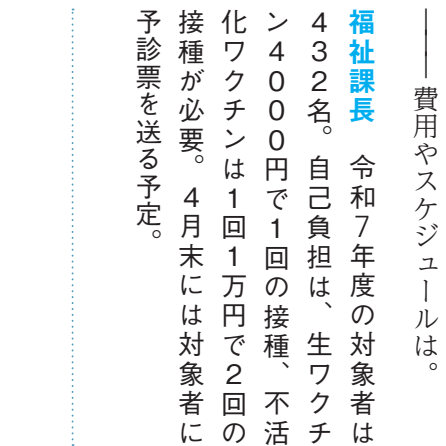
### 高齢者の带状疱疹予防接種事業

999万円

費用やスケジュールは。

### 福祉課長

令和7年度の対象者は432名。自己負担は、生ワクチン4000円で1回の接種、不活化ワクチンは1回1万円で2回の接種が必要。4月末には対象者に予防票を送る予定。



# 町政70周年の節目 総合計画の推進に尽力

令和7年度当初予算は、野上町政2期目の最終年度でもあり、「誰もが幸せを感じられるまち」の実現を掲げた総合計画に基づき、子育て支援や高齢者福祉、地域活性化の推進に向けた予算編成となっている。中でも子育て世帯訪問支援事業や学校給食費無償化、高齢者の移動支援や带状疱疹予防接種助成など、人口減少対策や住民の安心・安全に寄与する予算配分となっている。また、町制70周年記念を迎え、多くの関連イベントの実施が予定されている。

### 高齢者移動支援助成事業

302万円

75歳以上の非課税の方を対象としたタクシー助成。対象者以外の方たちが免許返納しても移動支援のサービスが受けられないのか。

### 福祉課長

年齢の引き下げや所得制限等についても研究していく。

### 重症化予防（糖尿病性腎症・慢性腎臓病）事業

72万円

糖尿病予防のための新事業を始めるということだが、詳しく説明を。

### 税務課長

糖尿病成人症の早期発見や高血圧重症化を予防することを目指す。集団健診時の尿検査に推定食塩摂取量と尿アルブミン検査を追加する。検査項目を追加することで糖尿病成人症、慢性心臓腎臓病の重症化予防対象者が明確になり、効果的な保健指導の実施が可能となる。

## 農業振興

### スマート農業実証事業



### （温州みかんドローン防除）

1000万円

ドローン5機購入は中山間交付金を利用するが、中山間参加者とそれ以外の人との差別化はどうするか。

### 農振課長

中山間のスマート加算を活用しているため、当面は中山間集落協定園地がサービス対象となる。財源のめどができれば、協定以外の園地も対象とした仕組みを検討したい。

令和7年度の事業について具体的な取り組みは。

### 農振課長

オペレーターの園地のみでドローン防除を予定。なるべく早い時期に、「ドローンオペレーターネットワーク（仮称）」の設立およびドローン教習を実施したい。防除に適した園地の条件などの発

信に努め、準備が整い次第、勝浦町版ドローン防除ガイドラインなどの公表もしたい。

## 観光・にぎわい

### 観光施設看板及びフォトスポット設置事業

810万円

看板設置にクラウドファンディングを活用するが目標額は。

### 企交課長

70周年記念事業の一環として100万円を目標額としている。

フォトスポットはどこにどのようなものを設置するのか。

## 令和6年度 一般会計予算 補正含め総額 48億 6876万円

| 補正予算（12月・2月・3月）                 | 主な内容 | （万円）  |
|---------------------------------|------|-------|
| 災害対策積立金                         |      | 20000 |
| 地籍調査事業                          |      | 14510 |
| 地域防災緊急整備型事業                     |      | 6506  |
| 予防接種健康被害救済給付事業                  |      | 4457  |
| 福中基金積立金                         |      | 3000  |
| 住民税非課税世帯への給付金事業                 |      | 2282  |
| 人事院勧告に伴う給与補正                    |      | 862   |
| 星谷橋架け替え事業                       |      | 858   |
| 介護施設等整備事業                       |      | 563   |
| 有害鳥獣対策事業                        |      | 350   |
| 介護施設等物価高騰対策支援事業                 |      | 220   |
| 町民体育館漏水対応等                      |      | 116   |
| 地域包括支援センターにおけるICT等導入支援事業        |      | 93    |
| 低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金給付事業 |      | 80    |

## 令和6年度 介護保険特別会計補正 補正含め総額 6億 4540万円

| 補正予算（3月）        | 主な内容 | （万円） |
|-----------------|------|------|
| 後期高齢者医療広域連合保険料等 |      | 427  |

いる。委託によって雇用の心配や、事務負担がなくなり経費削減にもつながる。

企交課長 情報館前に新設。情報館西側ベンチ、遍路小屋横の看板の足元に恐竜の仕掛けを施す予定。

## 追跡討論!

# どうなっとなんで?

## アレコレ決めたその後のハナシ

安心はいつ訪れる?



亀裂がいっぱい!!

**5年経った現状は…**  
土砂搬入は続いている。令和6年12367m搬入。  
(県環境管理課閲覧資料より)  
まだまだ土砂搬入は続く…

**どうなっとなんで?**  
**平石山鉾山への土砂搬入**  
**問** 平石山への土砂搬入中止を求める意見書が令和2年3月に町議会で可決されている。その後どうなっているのか。(井出)  
**答** あの場合(犬返り猿返り)に土砂が流入するようなことがあってはならない。  
(令和2年若あゆ会議)

利便性向上!



実習室も広げてよ

**4年経った現状は…**  
実習室の拡張はできていないが、スロープが広がり安心して乗り降りできる。荷物の搬入がスムーズに行えている。  
広くなった入り口のスロープ…

**どうなっとなんで?**  
**改善センター実習室**  
**問** 使い勝手の良かった農村婦人の家に比べて改善センターは実習室が狭すぎる。また搬入口も段差があり不便。改修が必要では。(花房)  
**答** 使用頻度の少ないものは別の場所に保管等、いろいろな対応が必要。利用者の意見も踏まえ検討する。  
(令和3年ひな会議)

早期対策を求む!



お遍路さんも不安

**5年経った現状は…**  
令和6年度に町内の法面点検を実施。生名大井線の結果は評価87。③となり、「道路への落石の危険性が高いため対策工が必要」との所見となった。令和7年度以降、優先順位をつけ対策していく予定。  
雨のたびに崩落…

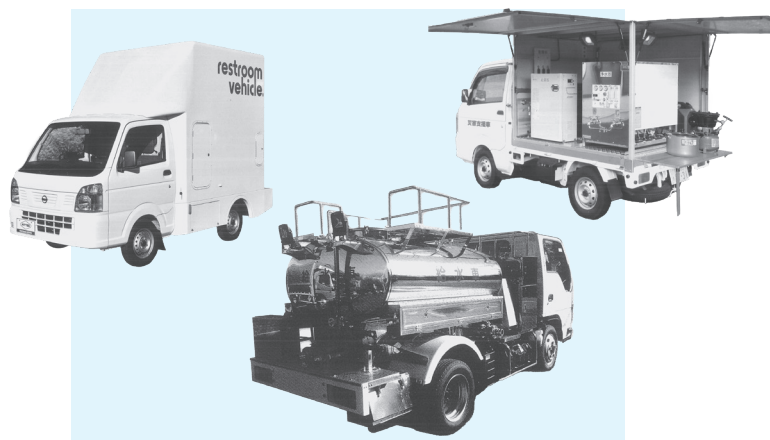
**どうなっとなんで?**  
**生名大井線の危険箇所**  
**問** 大きな雨が降ると小規模崩落が起きている。対策するとすれば大きな工事になるが、取り急ぎ簡単な補修はできないか。(花房)  
**答** 町道の危険箇所は応急手当的なことは随時進めている。大規模な対策は事業費が膨らむことから、国の補助金などの活用を研究する。  
(令和2年みかん会議)

### ③③③点

地形・地質、勾配・高さ、現時点での変状、といった法面・斜面における災害の要因に既設対策工の効果の程度等を加えて求めた評価点と災害の履歴に着目した評価点を比較して大きな方を採用する。

### ②スターリンク

低軌道衛星を用いて高速・低遅延通信を実現する衛星ブロードバンドインターネットのこと



- 備品購入費**
- 給水車1台(2300万円)
  - トイレカー2台(750万円×2台)
  - 災害支援車1台(800万円)
  - 段ボールベッド400セット(720万円)
  - 備蓄倉庫2台(500万円×2台)
  - ジェットヒーター1台(30万円)
  - スターリンク②②1台(50万円)

**地域防災緊急整備型事業**  
避難所の生活環境の抜本的な改善をはじめ、災害にも対応できる魅力的な地域づくりをめざす。

6506万円

給水車1台、トイレカー2台、災害支援車1台を購入するが、内容は…  
**総務課長** 給水車は2トン車で1800リットルの飲料水を積載できる。トイレカーは洋式便器2つ、大便器と小便器1つずつのものを購入予定。災害支援車は浄水器、発電機、石油給湯器、調理用バーナー等を装備したコンテナ型の車両になる。  
—— 有利な補助金を活用し購入するが、維持管理の計画は。  
**総務課長** 車両の置き場所は選定中。今後、仕様書等を精査し、入札する。運用方針もそれまでに決定する予定だ。

# 正算

# 補予

議案審議

防災・まちづくり

災害対策として購入するが、普段も活用するのか。  
**総務課長** 各種イベント等でトイレカー、防災イベントには給水車や災害支援車が活用できる。  
**予防接種健康被害救済給付事業**  
国の予防接種健康被害救済制度に基づき、国から新型コロナウイルス接種による健康被害の認定があったことから、請求者への給付金の支払いを行う。  
4457万円

医療・福祉

教育・子育て

**勝浦町福中政美子どもの育英基金条例**  
勝浦町出身の福中政美様の関係者の方から、町内の子どもの健全育成及び教育環境の充実に役立ててほしいとの申し出があり、9月に3000万円のご寄付をいただいた。勝浦町の将来を担う子ども達の豊かな人間育成に役立て、スポーツや文化振興の費用に充てるための基金条例。  
3000万円

その他の

基金の活用については、備品の購入を基本とすると説明があったが、人材育成ということで、子ども達に海外留学や、プロスポーツ選手や学者、文化人を招いて講演会などの開催はできないか。  
**教委局長** 福中さんのご意向お聞きし、検討したい。令和7年度は勝浦中学は校旗の購入、生比奈小は音響設備の更新、横瀬小学校は楽器、サッカーゴール等の購入である。  
**人事院勧告に伴う給与補正**  
令和6年人事院勧告に基づき、給与制度を改正し、給与の適正支給を図る。  
862万円

全会一致可決

発議第1号

「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書」についてを内閣総理大臣、衆議院議長、参議院議長、法務大臣、内閣官房長官に提出。

(議員名あみかけ項目は記事掲載あり)

| 防災・まちづくり |          |
|----------|----------|
| 道路・橋     | 井出 節     |
| 防災       | 瀬戸 福井 内容 |
| 住宅・公園    | 花房       |
| 高校生議会    | 花房 内容    |
| 広域ごみ処理   | 長尾       |
| 情報アプリ    | 内容       |
| 教育・子育て   |          |
| 少子化対策    | 井出       |
| 通学路・交通安全 | 玉置 長尾    |
| 給食       | 福井       |
| 観光・にぎわい  |          |
| 町制70周年   | 瀬戸       |
| 恐竜       | 福井       |
| 商工業振興    |          |
| 収益対策     | 節        |
| 農業振興     |          |
| ドローン関連   | 井出 長尾    |
| 畜産団地     | 福井       |
| 医療・福祉    |          |
| 公共交通     | 瀬戸 玉置    |
| 高齢者対策    | 井出 瀬戸 花房 |
| 障がい者福祉   | 玉置       |
| 高額療養     | 節        |
| その他      |          |
| 組織体制     | 花房 福井    |
| 財政       | 節        |



### 魅力ある理念を持ったまちづくりを

ドローン活用でみかん振興を



### 感震ブレイカーの普及と購入助成を

火災を防ぐための感震ブレイカー



### 通学路の安全対策について

現地調査をしているのか

議員 子智美 井出

ドローンの活用には、樹形、電線除去、防風林、周辺樹木伐採等さまざまな準備が必要だ。取組はどうか。

農振課長 2月の勝浦みかん活性化大会で講師が詳しく述べていた。早急にドローンに適した園地と適さない園地の発信に努め、準備ができ次第、勝浦版ドローン防除ガイドラインの広報もしたい。

農業や子育て支援など優れた施策があるのに移住者を呼び込める町の理念がない。魅力的な理念を作りドローンでみかん振興を図り、町の活性化につなげるべきだ。

町長 若い農業者がみかんを植えてもすぐにはお金にならないが、農業分野の事業承継のモデルを検討していき、先人から受け継いできた勝浦みかんを存続させていきたい。

補聴器の助成を

上板町では、7年度実施を検討している。勝浦でもぜひ実施を。

福祉課長 県内でも補聴器の助成を始める動きがあり、今後、補助額の上限や対象者がどのくらいいるのかなど、先行町村の事例を参考に検討していきたい。

耳が聞こえなくなると本当に認知が進んでしまう。ぜひとも実現していただきたい。

町長 購入してトラブルが生じているという事例もあるので消費者トラブルを避けるために、耳鼻咽喉科の先生方の話を十分聞いて購入する方がいい。研究しながら、7年度にかけて検討し、実施に踏み切っていきたい。



ドローンのための周辺樹木伐採

議員 瀬戸 直一

地震時の火災予防に感震ブレイカーは有効だ。普及に向けた取り組みと購入助成はできないのか。

建設課長 耐震改修事業を申し込めば感震ブレイカーの設置に支援がある。広報ホームページや区長会で紹介し、詳しくは集会所に耐震メニューを掲示いただくようお願いしている。また地域包括支援センターやケアマネジャーに周知啓発を依頼をしている。減災化事業は、積極的に推進しており、情報発信にも努めている。ただ、国費、県費を財源としていることから、9月末頃までに次年度要望件数を県に報告する必要がある。設置希望者の情報を町につないでいただければ、可能な範囲で増額要望をしていきたい。

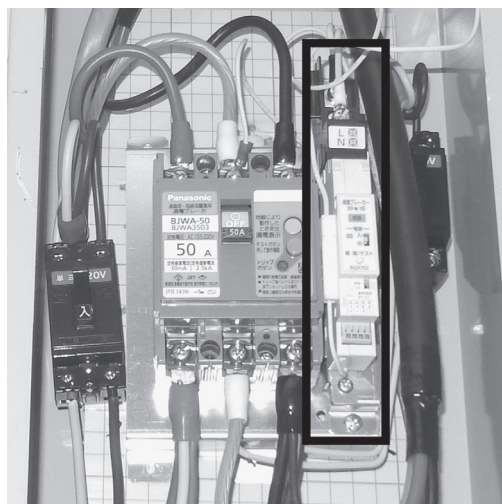
認知症になっても希望を持って暮らせるまちづくりを

認知症政策推進基本計画はどうなっているのか。

福祉課長 介護保険事業計画の基本目標は、①生涯を健康で生き生きと活躍する、②地域で安心して暮らし続ける、③介護保険サービスと地域支援事業の展開と定めている。二つ目の基本目標の一部が認知症政策推進計画となっている。

認知症になっても希望を持って暮らせるまちづくりは。

町長 タブレットやスマホ教室、フレイル予防するためいきいき体操や100歳体操など、さまざまな予防対策を行っている。町民のみなさんに積極的に参加してもらおうのが認知症予防の一番大事なところと考えている。



これが感震ブレイカーだ!!

議員 玉置 守

通学路の危険個所の改善については、過去の議会でも何回も質問されている。交通安全対策会議で検討しているとのことであるが開催状況は。また、傍聴は可能か。現地踏査はしているか。

住民課長 町道・県道関係者・警察・学校関係者で年1回、2時間程度、危険個所は写真で確認協議、現地確認は行っていない。傍聴は交通安全対策会議に諮る。

各学校・PTA協議は。また、県道改良の要望はどのようにしているか。

教委局長 毎月1回学校支援コーディネーター定例会で見守り隊含め、PTA保護者に意見を聞き反映している。

建設課長 毎年6月に東部県土整備局に継続区間・新規採択の要望をしている。

町長 私も毎年県土整備局に対して、岡本県議と一緒に要請活動を行っている。

勝中通学線は馬越から横瀬橋まで約3kmあり、大半が河川堤防で、暴風や洪水時の冠水など自然の影響を受ける。さらにクラブ帰りの生徒は、夕方から夜間については防犯灯も少なく危険。防犯灯の計画はあるか。

教委局長 計画は持ち合わせていない。

野上町長 町民が安心安全に暮らせるように道路、防犯灯の整備は必要かと思う。ただ、それぞれの財源の中で優先順位をつける必要があるの、要望に応えるために内部での協議も行い進めていく。

子供たちの命は一刻を争う。管理者もスピード感をもって行政に取り組んでいただきたい。



夜はこんなに暗い…(下)

### 動画で一般質問を見る

一般質問の全編を動画投稿サイトYouTubeにて閲覧いただけます。



<https://www.town.katsuura.lg.jp/gikai/chukei/>



協力隊

もっと地域おこし協力隊の活用を

さまざまな課題解決につながる

地域おこし協力隊員の活用の実績と町内に残っている人数は。

平成22年度から18名採用。現在10名残っている。

これからの地域おこし協力隊員の採用の予定は。

各課からの要望はなく、募集の予定はない。

設立されるスポーツ協会のために、スポーツ振興での協力隊員を再度募集できないか。

総合型スポーツクラブの関係者との協議により、状況や必要性に応じて、判断をしたい。

本町のさまざまな課題解決に活用できる協力隊員の導入を。

今後とも勝浦町の弱い部分を協力隊に求めるというはある。商工関係の事業継承など、ニーズ調査もまだできていないので、考えていく必要がある。

高齢者等世帯に対するごみ出し支援を

高齢者等世帯に対するごみ出し支援の特別交付金という制度とは。

ごみ出しが困難な世帯に、市町村が実施するごみ出し支援に要する経費の5割が算定される。

高齢者等世帯に対するごみ出しへの特別交付金活用を。

高齢化により、ごみ出しに苦労する方が増加する。地域の助け合いに頼るか、職員が効率的に収集に回れるような方法を利用するかなど、交付金を活用した支援制度も含め、研究していく。



大活躍中の元・地域おこし協力隊員



議員

これからも活力のある町であるために

一時保育が必要では

第六次総合計画後期計画、町民のみなさんと考える機会を。

少子化問題は喫緊の課題。若い世代の意見を出向いてでも聞いていきたい。

子育て環境の充実に向けて、一時保育が必要では。

7年度から、出産や育児に不安のある家庭に対して家事支援を始める。

子育て政策の充実を図ってきたが、もっと見える化をすべき。

よりわかりやすいHPやアプリの活用は若い職員が長けている。きめ細やかな支援策を見てもらえるようにPRに

力を入れていきたい。

子どもたちの交流・留学事業などにふるさと納税が使えないか。

有効な財源確保策であるが、企業版ふるさと納税は地域再生計画が必要。次の計画で意識して策定したい。

勝浦町が活力ある町であるために

中学生のふるさと学習として復興常備食の開発はできないのか。

復興常備食は災害時に温かくおいしく食べてもらえるよう冷凍保管する。キッチンカー協会と災害時協定を締結しており、今後取り組みを検討する。

使用済み歯ブラシ回収の取り組みを。

ごみの減量や循環型社会に向けた取り組みだ。役場や学校でも進めていけるように相談したい。



子育て支援のPR強化を!



議員

立川不燃物処理場とリサイクルプラザ閉鎖後は

活用の予定なし

小松島新処理場完成後は不燃物処理場とリサイクルプラザは閉鎖される。閉鎖後の対応は。

ごみを仮置きすることなく、新施設等に直接搬入することによって、人件費、維持経費の削減につながる。分別業務をシルバー人材センターに委託しているが、人員の確保が難しい。また、現処理場閉鎖後の活用の予定はない。

ごみ広域処理場は小松島市とで決定か。

徳島市より新処理場への打診はない。以前より小松島に可燃ごみの焼却をお願いしており、今回の協定では町内で独自におこなっていた不燃ごみの処理をお願いする方向で進んでいる。

星谷橋北詰、T字路事故防止対策は

安全対策が当初予算化された。いつ完成するのか。

4月に発注予定で、公園北側堤防道路下と公園南河川側双方、西出口に停止線を設置する。

星谷橋北詰め手前で減速を促す道路標示の設置をしたらどうか。教育委員会の設置時期と同時進行で足並みを揃えられないか。

交通安全対策協議会で指摘があり、停止を促す指導線を引けば効果的で、必要であれば減速マークの設置も考える。

教育委員会と連携し、同時期の施工が望ましく、事業者を決定し新年度早期に設置する。



4月14日に施工。事故防止の効果に期待。

## 動画で一般質問を見る

一般質問の全編を動画投稿サイトYouTubeにて閲覧いただけます。

<https://www.town.katsuura.lg.jp/gikai/chukei/>



## 議会広報バックナンバー

過去に発行した勝浦町議会広報をインターネットで閲覧することができます。

<https://www.town.katsuura.lg.jp/gikai/dayori/>





## 恐竜事業の取り組みは 恐竜のラッピングバスは

来年度の恐竜事業及び長期的な事業計画は。

**議員 福井 裕美**  
**教務局長** 恐竜フェスティバルを夏休み期間中に開催。発掘体験や恐竜キーホルダーの作成。昨年好評だったVR体験や3Dポスターに加えて、徳島県立博物館との共催による恐竜展を開催し、勝浦町産恐竜化石や世界の恐竜化石等の展示を行う予定。令和6年度に行った化石の日の講演会や発掘体験、ワークショップも予定をしたい。学校教育の特色となっている恐竜を生かしたふるさと学習も引き続き積極的に取り組んでいく。発掘作業は徳島県が新たに5ヶ年計画で取り組むことが決定している。

——恐竜のラッピングバスはどうなっているのか。

**教務局長** 6月に福祉バスを買い替えるので社協のキャラクター(リアン)のラッピングバスが納車をされる予定だ。

## 給食センターの直営存続を

——勝浦町自慢の給食。令和7年3月末で、調理員が2名退職と聞いた。4月からの職員の補充はできているのか。

**教務局長** 定年を迎えた方1名を再任用し、会計年度任用職員1名を採用するめどが立ったので、人数的には減らない予定である。

——現在の職員が、あと数年で全員退職となる。これからも直営で給食センターを運営するのか。県下で一番美味しい給食を提供できる体制をお願いしたい。

**教務局長** 関係者と協議を進め、今後の方針を決めていきたい。



こんなバスが走るんじょ



## 勝浦農業の後継者に 勝浦校存続への取り組みは

高校生議会で、中学生が

ライフル競技に触れる機会を設ければ勝浦校への進学が増えるのではとの提案があった。新年度に向けての動きは。

**議員 内谷 安宏**  
**教務局長** 両校の関係者が協議を行い、必要であれば中学生に参加希望を調査するなど、教育委員会としても調整を行っていききたい。

——勝浦校存続へ取り組むこと、取り組む思いは。

**教育長** 農業についての学習や、ライフ競技、人形浄瑠璃、二美の会(人権教育)など特色ある部活を進学先の選択肢としてアピールしたい。

**町長** これからも勝浦校が続くように本町としても支援はやっていく。卒業して農業に取り組む人が1名でも生まれてくれば、勝浦農業の後継者になると思うので、これからも重要課題として取り組んでいきたい。

## スターリンク導入について

——導入目的と運用計画は。

**総務課長** 災害対策本部の通信を確保するために衛星インターネットサービスを整備する。平時利用としては防災訓練で展する計画をしている。

——導入費用と維持費は。

**総務課長** 購入費用が48万8500円、維持費は月々4万3780円。

——各地区の避難所へ設置はできないか。

**総務課長** 避難所の通信手段の確保は重要だ。購入財源や維持管理費用を考慮し、優先順位をつけなくてはならず、各地区への配備には至っていない。



勝浦校の存続を



## 令和6年度中の完了予定 だったのでは いつ終わるのか 柰瀬地区工事

**議員 篠 公一**  
——令和4年みかん会議の一般質問の答弁では、令和6年度の完了予定とのことであったが、今なお工事中で、町道の通行止めがよくあり、支障をきたしている。4月以降も工事は続く様子だが、現時点での完了予定は。

**建設課長** 本体工事については、令和7年度末の完了予定で、道路補修や用水路の土砂撤去は令和8年度になる場合もある。

——遅れた要因と今後の工事内容は。

**建設課長** 遅れている要因は、法面地盤の土質が当初の想定より弱い弱で、工法の変更による追加工事が必要になったのが主である。残りの工事は、法面のコンクリート吹き付けと鉄筋の打ち込み、南

側の階段設置が主なものになる。

## 県道徳島上那賀線 柰野工区の進展は

——毎年、町長は県議や地元関係者と共に、県土整備局に要望に出向いているが、昨年6月の会議内容は。

**町長** 現道の拡幅はなかなか難しいので、減速帯を設けるなどの工夫はできるとの回答があった。

——総合計画の成果指標では令和7年度に事業着手となっている。予定通り、工事着手はできるのか。また、ルートの決定は。

**町長** 柰野工区は現在の中角工区が完了後の予定となっているため、令和7年度の工事着手は難しい。ルートの決定は事業採択決定後、地元の意向を尊重して決めるという県の方針である。



ついに完成か!?

## 動画で 一般質問を見る

一般質問の全編を動画投稿サイトYouTubeにて閲覧いただけます。



<https://www.town.katsuura.lg.jp/gikai/chukei/>

## 議会広報 バックナンバー

過去に発行した勝浦町議会広報をインターネットで閲覧することができます。



<https://www.town.katsuura.lg.jp/gikai/dayori/>

## 3つの町村が描く地方の未来 三者三様、それぞれのまちづくり

2月3、4、5日に、岡山県吉備中央町、奈義町、西粟倉村で視察研修を実施。デジタル田園健康特区に指定されている吉備中央町のDXの取り組みや、本町と同規模にも関わらず少子化対策が有効に働いている奈義町の子育て支援策や西粟倉村ではローカルベンチャー支援について学んだ。



勝浦町も子育て支援策は奈義町と遜色はない。結果に結びついていない原因を分析することで、政策効果も向上すると考えられる。令和6年度に勝浦町内で生まれた子供は10名だった。50%に近づきつつある高齢化率とともに、少子高齢化に対しての危機意識を町民

吉備中央町は「**デジタル田園健康特区**」に指定され、デジタル技術を活用した健康・医療の課題解決を主に住民の「**ウェルビーイング**」の向上を図っている。そのために「きびアプリ」を開発し、毎日の健康チェックや日用品等の買い物注文、「へそPAY」を活用した地域通貨支払い機能など、「阿波かつうら情報アプリ」にはない多彩な機能が実装されていた。今後は勝浦町の課題を整理する中で、アプリに加える機能を提案していきたい。



西粟倉村での視察風景

西粟倉村は人口1333人、601世帯、高齢化率38.7%、92.6%が森林の村。そんな小さな山村の人口の約15%が移住者で占めており、その理由は50社を超えるスタートアップ（起業）が誕生していることにある。勝浦町と同じく市町村合併をせず、2008年に「百年の森構想」を掲げ、「自立」「持続」できる村づくりに取り組んだ。森林の多くを占めるスギやヒノキが、ちょうど売り時だったことから人工林の木材価値を最大化することを目的として構想を推進した。雇用を創出する仕組みづくりを生かし、2015年には「西粟倉ローカルベンチャースクール」

が共有し、全町的な取り組みとして本気で推進する必要がある。西粟倉村は人口1333人、601世帯、高齢化率38.7%、92.6%が森林の村。そんな小さな山村の人口の約15%が移住者で占めており、その理由は50社を超えるスタートアップ（起業）が誕生していることにある。勝浦町と同じく市町村合併をせず、2008年に「百年の森構想」を掲げ、「自立」「持続」できる村づくりに取り組んだ。森林の多くを占めるスギやヒノキが、ちょうど売り時だったことから人工林の木材価値を最大化することを目的として構想を推進した。雇用を創出する仕組みづくりを生かし、2015年には「西粟倉ローカルベンチャースクール」

### ④デジタル田園健康特区

地方でデジタル技術を活用し、医療・福祉・暮らしの質向上を目指す特別区域。

### ⑤ウェルビーイング

心身の健康だけでなく、人間関係や社会的つながりも含めて、総合的に満たされた幸福な状態のこと。



日ごろ、みなさまからいただいている声を、議員が町民代表として執行部へ投げかけました。

### 星谷橋の北側の安全対策をしてほしいなあ



北詰交差点は運動公園とT字になっている。減速マークやT路交差を路面表記する等、分かりやすくする方法を交通安全対策会議にて関係者と議論していきたい。

更に交差点標識、路面標示で交通事故防止に効果があるのではないか。

指導停止線の設置に問題無いと確認できた。運動公園管理道路と川沿いの両方への設置に向け取組んでいく。

3月ひな会議で星谷橋北詰T字三叉路への停止線と安全標識設置への再質問後、11月8日に大きな人身交通事故が発生した。見通しが悪いうえにカーブミラー1基で危険な為、再度安全対策を実施を要望する。県河川管理課、小松島署交通課に問合せした所、流水の妨げにならないければ問題はない。小松島署も地域安全対策として自治体でおこなって頂けることは大歓迎。双方共に問題有りませんとのことだった。今後の取組は。



### 星谷橋の掛け替え事業費が増えたのはなぜ



一般的には見積もりが大幅に増大した場合、計画を見直すものだが、計画の変更は検討されたのか。

議論を重ね、安全面、経済性、効率性を見据えた上で、今の設計となった。ただ、今後出てくる実施設計の中で、撤去、橋の上部工など、多少の節約はあるかと思われる。

広報での事業内容の発信は、良くできている。問い合わせや説明会の要請は今のところない。説明会をするならば、全町的にすることを検討する。

対象地域の住民に対して、昨年7月に説明会をしている。広報で事業内容を発信しているが、全住民に伝わっているかわからない。各地域でも説明会をしてはどうか。

星谷橋特別委員会も設置され、現場の視察もされて、議会のみなさんは、推進の立場であると認識している。ただ、金額については、これからみなさんをお願いをしていく。

昨年の6月11日のまち未来づくり委員会で、「星谷橋架け替え」全体事業費が、18億円から45億円に増えたと報告があった。「全体事業費が増えたこと」は、議会で承認されたものと行政側は認識されているのか。



今号から、議長コラムのタイトルが変わりました。「共勝創躍（きょうしょう・そうやく）」—— 町民と行政が手を取り合い、共に勝ち（共勝）、共に未来を創り（創）、共に躍動する（躍）姿勢を表した言葉です。

# 共勝 議長コラム 創躍

きょうしょう・そうやく

勝浦町議会  
第43代議長 松田貴志

今回の表紙は、6年間にわたり勝浦町の安心安全を守り続けてこられた横瀬駐在所の前所長、木村和昭さんです。毎朝のパトロールではスピーカー越しに響く、優しく温かな声かけによって、子供たちは安心して学校に通えたのではないのでしょうか。ありがとうございます。4月からは新たに渡邊章人さんが着任されています。引き続き勝浦町の安心安全をよろしく願います。

役場では6年間副町長として勤めてこられた山田徹さんが3月末を持って退任されました。役場職員時代も含め40年余りの間、勝浦町の住民福祉の向上、町の発展に取り組んでこられました。大変お世話になりました。4月からは建設課長などを務めてこられた海川好史さんが、



新任の渡邊章人さん

新たに副町長に就任。徳島県から派遣されている野上佳孝政策監と共に、町制70周年を迎えた野上町政2期目の最後の1年、総仕上げをサポートしたいと思います。

私たち議員ももうすぐ任期折り返しになります。野上町政7年間で公約の達成状況や町内に山積する課題対応への監視機能とともに、企画立案することのできるシンクタンク機能も持ち合わせた組織へとレベルアップしていきたいです。

## 編集後記

積み重ねられ継続されてきました先輩議員や歴代広報委員のみなさまによりまして、議会広報も101号という出版の新しい船出ができましたこと大変うれしく思っています。勝浦町としても去る3月1日70周年を迎え町民のみなさまと共に改めてお祝い申し上げます。80周年に向けた新たな第一歩が踏み出されました。

今後も議会広報が町民のみなさまにわかりやすく愛される「議会だより」になるよう精進してまいります。

玉置 守



## ふっちゃんけどうなの？議会広報

2月18日に役場3階の議場に集まっていたきモニター会議を開催しました。広報に対しての意見や感想をいただきましたので、今後の誌面づくりに生かしていきます。



100号記念特別企画の100人インタビュー、非常に興味深く見せていただきました。規模を考慮しながら継続してほしい。

100人インタビューよかった。決していることばかり書いているわけではないし、これを生かしていってくれたらいい。

モニター会議のメンバーだけでなく、100人の意見が出るのはいいことじゃないかな。誌面上は10号前のものより格段に見やすくなっていると思う。

表紙を見て、勝浦町からプロの選手がでることを初めて知って、すごい応援したいなって思った。

勝浦と隣町の上勝でも違いがある。近隣の人に勝浦町をはたから見た時にどういう風に感じるかとかそういう意見も面白いのでは。

住民参加で読みやすいし、とてもよくできていると思います。モニターになって隔々まで見るようになったから、多くの人が交代でモニターになれば議会の意味もよくわかると思うので、この方法を継続してもらいたい。

## 令和7年度の 広報モニター決定！



各地域からご協力いただいている議会広報モニターですが、今年度は次のみなさまにご協力いただきます。

|       |       |       |       |      |       |       |      |       |       |
|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|------|-------|-------|
| 石田 明奈 | 勢田 勝俊 | 金児 由華 | 倉坪 恭子 | 木原 努 | 戸川 貴博 | 北谷 誠司 | 作本 瞳 | 仁木 博子 | 大井 隆史 |
| 坂本    | 与川内   | 横瀬    | 中山    | 棚野   | 生名    | 星谷    | 今山   | 沼江    | 沼江    |

（敬称略）

# 遠くで聞いた Goodくる ハナシ



伊丹 謙太郎さん  
1975 年生  
与川内出身 千葉県在住  
法政大学大学院公共政策研究科 教授

横瀬小学校を卒業し、18歳まで徳島で暮らしました。現在は、人口急減地域に特有の諸課題に対して協同組合方式で解決していく政策研究と、学生への教育に従事しています。

勝浦町には新しく「阿波かつうらワークス協同組合」が誕生しました。近々、訪問させていただきますので、その折にはよろしくお願いします。



## Goodくる視点

これから勝浦を離れ、首都圏や関西で学び・働く若い人もたくさんいると思いますが、心強い先輩たちがたくさんいることを忘れないで、関東阿波かつうら会や近畿かつうらふるさと会のメンバーに相談し、頼っていただきたいと思います。

また、多くの若者たちが各々の夢を叶えるために県外から勝浦に移住しています。燃えるような情熱をもって勝浦にやってきた彼らと交流し、これからの勝浦をどうしていきたいか、どんな町にしたいのか、そして将来の自分の姿など、世代を越えて町のみなさんで語り合える時間を作ってください。こうした機会がきっとあなたや勝浦町をより強いものとするはずです。



## 遠くからのメッセージ

両親は現在も勝浦町に在住していますが、1年に一度帰るか帰らないかという親不孝をしてしまっております。

路線バスはもう与川内から乗車できなくなり、全国的に地方が抱える課題が、この町にも共通して存在していることも実感させられます。

小さな町で、同級生だけでなく先輩や後輩のみなさんもみんな仲良しでした。帰郷の際には、昔話などに花を咲かせましょう。

## 表紙写真募集!

議会広報委員会では、みなさまからの表紙写真を募集しております。テーマは「町民の笑顔」! 詳細は下記 URL または QR コードをチェック!

<https://formok.com/f/1chm9gn/>



今回の表紙は、前・横瀬駐在所所長の木村和昭さんです。4月からは徳島市内の学校職員として勤務しています。「42年間の警察官のキャリアを勝浦町で終えることができ、最高に幸せです。いつまでも心は勝浦町にあります。遊びに行った時には気軽にお声掛けくださいね」(木村さん)

## 表紙探訪

今号の表紙はこんな人

